

2026年2月12日

各位

会社名 株式会社デージーネット  
(コード番号 371A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 恒川 裕康  
問合せ先 取締役 IR 担当部長 的場 憲二  
T E L 052-709-7121  
U R L <https://www.designet.co.jp/>

### 通期業績予想の修正及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年6月26日の上場に伴う当社決算情報等発表時に開示した2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の業績予想及び1株当たり配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	471	4	2	1	6.51円
今回修正予想（B）	393	△18	△28	△27	△110.50円
増減額 （B－A）	△78	22	30	29	－
増減率（％）	△16.6	－	－	－	－
（参考）前期同期実績 （2024年12月期）	455	21	18	9	39.97円

（注）当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき100株、2025年3月24日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。

#### （1）修正の理由

2025年12月期の業績予想につきまして、売上高は前回発表予想471百万円に対し、393百万円と当初予想を78百万円下回る見込みとなりました。

売上高の主な要因といたしましては、販売額（請求額累計）は前年を上回ったものの、米国の関税政策の影響等を背景に、日本の製造業を中心とした顧客企業においてIT投資の抑制や案件計画の延期が発生し、当初想定していたシステム構築案件や新規案件の受注が計画を下回って推移したことが挙げられます。

一方で、長期の保守契約は堅調に推移したものの、売上計上が期間にわたり分散される特性から、売上高全体としては減少する結果となりました。利益面につきましては、売上高の減少に加え、2025年6月の上場に伴う採用力強化、社内体制整備、企業認知度向上等を目的とした先行投資を実施したことにより、販売費及び一般管理費が当初想定を上回って増加いたしました。

これらの結果、営業利益、経常利益および当期純利益は、前回発表予想を下回る見込みとなっております。なお、これらの先行投資は翌期以降の事業拡大および収益基盤の強化に寄与するものと考えており、中長期的な成長に向けた取り組みを継続してまいります。

## 2. 配当予想の修正（無配）

	年間配当金（円）		
	中間期末	期 末	合 計
前回予想	—	13円04銭	13円04銭
今回修正予想	—	0円00銭	0円00銭
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績 (2024年12月期)	0円00銭	79円94銭	79円94銭

### (1) 修正の理由

当社は、企業価値の向上を通じて、将来的な株主還元の充実を図ることを基本方針としております。今期につきましては、事業拡大および収益基盤の強化を優先する必要があると判断し、配当を実施しないことといたしました。

以上